

## 令和2年度 第2回 湖西市未来ビジョン会議 会議録

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 開催日時 | 令和3年1月19日（火）14:00～15:30 |
| 開催場所 | 湖西市健康福祉センター 3階 研修室      |
| 委員   | （出席者）9人（欠席者）2人 ※事務局 6人  |

### 内 容

#### 1 開会

##### 進行：企画政策課長

- ・ 竹田委員について、静岡県が1月14日に示した「新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応方針」において、県を跨ぐ来訪の自粛について強く要請されたことを踏まえて、委員と調整し、本日の参加を見合わせていただき、事前にご意見を頂戴した。

#### 2 座長あいさつ（山家副市長）

- 新型コロナウイルス感染症について
  - ・ 市内でも年明け以降、感染者が増えてきている。
  - ・ 会議の開催については、感染症対策に配慮したうえでの開催となっているため、ご理解いただきたい。
- 湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略と次期総合計画との統合について
  - ・ 次期総合計画については、これまで市民の代表者で構成されている審議会で、活発なご意見をいただき案がまとまった。
  - ・ 本日は、その案について率直なご意見を伺いたい。
- 来年度当初予算について
  - ・ 現在、庁内にて協議を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な収減が予想されている。
  - ・ こうした中でも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策とともに、湖西市の持続的な発展のために必要な取り組みを、引き続き行っていかなければいけないと考えている。
- 会議録の公表について
  - ・ 本日の会議内容については、会議録として公表させていただく予定です。

### 3 議事

#### (1) 第6次 湖西市総合計画との統合について

##### <事務局>

- 説明資料
- ・第6次 湖西市総合計画（案）
  - ・湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略
  - ・総合計画・総合戦略対比表
  - ・事業比較一覧
  - ・委員質問事項一覧

##### [統合の経緯と整合性、総合計画の概要について説明]

##### ○竹田委員からの意見を代読

- ・「湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第6次 湖西市総合計画」の戦略目標追求の流れを強化するものであるため、「総合戦略」のKPIを「総合計画」の戦略目標に統合していくことについて同意する。
- ・KPIはPDCAサイクルを回す上で重要な目標値ではありますが、ものによっては「基本目標」の代理変数であり、また施策の効果測定においては当該施策以外の他の要因が及ぼす影響も大きくなります。このため施策のKPIによる評価においては、当該施策以外の他の要因の影響に十分に配慮して施策を評価すべきであり、機械的な評価にならないように留意すべきであると思います。

##### (質疑・意見交換)

##### <座長（副市長）>

##### ○事務局説明に対して、追加の補足説明

- ・No.5：総合計画では、詳細については記載されておきませんが、総合計画の下位計画、観光で言うと観光基本計画で具体的な施策について記載しております。現在策定中の観光基本計画では、事前質問でいただいた内容にも取り組んでおります。
- ・No.7：来年度予算で、空き家の活用やサテライトオフィス開業での活用を見込んだ施策の実施を予定しており、今年度はあまり実施できなかった中京圏向けのイベントも、積極的に実施したいと考えております。
- ・No.12：病院の統合・再編については、新型コロナウイルス感染症の影響で、厚労省の作業がストップしています。市としても市の地域医療を考えたときに、湖西病院で全て対応するのは無理があると考えており、今後すみ分けなどを検討したいと考えております。
- ・No.15：新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言が発令されたため、年明け以降に予定していた今年度分の実証実験を中止としております。
- ・No.22：職業訓練センターで、企業の技術者向けの養成訓練などを実施しております。市としても来年度、ものづくり産業の振興に重点をおき、「ものづくり産業振興計画（仮称）」の策定を予定しております。

- ・ No.25：現在策定中の観光基本計画において、サイクルツーリズムの推進なども盛り込む予定であります。
- ・ No.28：12月末に、国が自治体のDX推進計画を策定し、その進め方が今年の夏に示される予定のため、市の計画も9月の策定予定から少し遅れてしまうかもしれません。
- ・ No.29：まちづくりについて、市だけでできるとは考えてはおりません。まちづくりの担い手を増やしていくことが、湖西市の持続可能な発展に繋がっていくと考えております。総合計画の中でも、全体的な方針として市民協働に触れようと思っておりますので、詳細は今後検討していきます。

#### <大石倫委員>

私は袋井市から通勤しているが、袋井市と湖西市で言うと市の規模もあまり変わらず、工場も多く似ている所がたくさんある。ただ観光資源で言うと、圧倒的に湖西市の方が多いている。それらをPRするポジションがあっても良いと思う。観光だけではなく、市をPRする部署があっても良いと思うし、認知度を上げれば観光客も増えてくると思う。どのような戦略で行っているか教えて欲しい。

#### <事務局>

PRについては観光交流課という部署で行っています。情報の発信で言うと、湖西市の公式LINEアカウントを実施しており、市外の方にも湖西市をPRしています。

#### <座長（副市長）>

先ほど話にあった観光基本計画でも、地域ブランドによるプロモーションを重点施策として掲げており、そういった取り組みを来年度以降進める予定であります。

#### <事務局>

市のPRについては移住・定住に関しても同様で、庁内会議である職住近接推進会議の中でも課題と捉えています。市外県外、特に中京圏に対し色々な場面で積極的に市のPRを行い、湖西市の名前を多くの方に知ってもらえるよう心掛けています。

#### <杉本委員>

せっかく統合した計画なので、市民の皆さんに理解していただかないと意味がない。湖西市がどういう目標をもって、どういう施策を実施していくのか、市民の方に伝わりやすいものにしていただきたいと思う。そういう意味でいうと、少し難しい言葉、いわゆるお役所用語、言葉遣いがあるかなと感じる。もう少し、市民の方に伝わりやすい言葉などを使ったらどうか。

次に、先ほど「市民協働」の話があったが、事務局から「理念」として捉えているとの説明があった。「理念」として捉えているのであれば、計画の最初のほう（ページ）

で「市民協働の理念・・・」といったかたちで記載があっても良いと思うし、そうした方が見た人の意識も違うと思う。

次に26ページの体系図だが、一番下に記載のある「横断的戦略」について、これは今後、すごく大事になってくる戦略だと思う。しかしながら、「横断的戦略」が「行政経営」となっているのが少し引っかかる。

もう一点、私のイメージとして「横断的戦略」というのは、戦略の3と戦略の4、産業と交流のように密接に関係しているものがある中で、例えば移住・定住でいうと、企業立地的な発想がある中で、一方で結婚・子育ても関係してくる。そういった意味での「横断的」というのが重要になってくると考える。そうなってくると26ページの体系図は、戦略1から4の部分の縦に通すようなものが「横断的戦略」だと思うし、そういった場合に、庁内の連絡会のようなものが活かされてくると思う。現在の記載の仕方だと、そういったところが読み取れなく違和感がある。

ただ全体的なところで言うと、目的と目標がはっきりしており、あとは実現するための戦術・施策・事業が行われていけば、計画通りに行くのかなと思っている。

#### <座長（副市長）>

26ページの体系図については、私も当初は杉本委員がおっしゃるように縦に記載したいと提案したが、実際に記載してみると分かりづらいと指摘された経緯があり、「横断的戦略」が一番下に記載してあります。

「横断的戦略」について、例えば観光で言うと「産業」と捉えることもできるし「交流」ということで捉えることもできると思います。この計画では、「交流」に重点を置いて記載してありますが、委員おっしゃられるように「産業」にも掛かっている施策だと思っています。実際には、そういった観点を持ちながら進めていきたいと考えております。

ご意見につきましては、検討させていただければと思います。

#### <事務局>

計画自体、誰のためかと考えたとき、やはり市民のためなので市民が見てわかりやすいよう記載したいと思います。そういった中で「市民協働」については、計画の中に「序章」がありますので、その部分に記載したいと考えております。「横断的戦略」については、国の総合戦略にも「横断的戦略」があり、図では縦に跨るかたちで記載してありますが、湖西市の計画では、81ページに説明文を追記しようかと考えております。

#### <飯田委員>

市の方と接していると観光振興は観光だけ、文化振興は文化財だけと、市全体が目指しているところと課の人たちの思考に隔たりを感じる。「横断的戦略」と各課での振興を進め、「住んで良し、訪れて良し」の地域をつくるという所を目指して欲しいと思います。

**<座長（副市長）>**

まずは市の職員が理解して、市民にも理解していただければと思います。

**<大石一委員>**

計画を見させていただき、市のやるべき事業を網羅的に、いろんな観点から集約して細分化して、最終的に基本事業とK P Iが記載してあり、これに基づいて取り組みを図っていくことが理解できる。ただ、お話を聞いていると、記載してあるK P Iだけではなく、記載してあるK P I以外の事もしっかり考えていると感じたので、記載してあるK P I以外に参考程度にでも指標を設定してはどうかと思う。

**<事務局>**

毎年、市では事務事業評価というものを実施しており、総合計画に記載してあるK P Iより細かい単位、300～400程度に分けて指標を設定して評価を実施しています。

**<座長（副市長）>**

冒頭、竹田委員からの意見にもあったように、施策以外の要因も含めて評価した方が良いとの意見もあったので、その辺も含めて評価方法を検討したいと思います。

**<杉本委員>**

先ほどの飯田委員の意見についてだが、文化財保護法が改正され保存に重きを置いていたものが、保存と利活用していくものというように変わった。県でも文化財の担当課が教育委員会から知事部局、観光の部門に変わった。湖西市においても、湖西市にある文化財や指定されていなくても文化的価値のあるものについて、観光資源として利活用していただきたいと思う。またそういった場面において、N P Oの皆さんへの期待も高まっている。

**<座長（副市長）>**

市としても、そういった方向で取り組んで行く予定で進めています。

**<飯田委員>**

湖西市には指定の有無に関わらず、貴重な文化財があると感じている。浜松市では公園の利活用についての市民会議を開いている。湖西市にはそういった所を参考としていただき、どうしたら文化財などの市の財産を活用できるのかを、会議や有識者などではなく、もう少し市民目線で行われると良いと思う。

豊橋では図書館について、市民や市民以外の人も参加できる会議を開催している。湖西市でもそういったものができるの良いし、図書館や公園などの施設での経済活動につ

いても、もう少し活発にできるような条例改正などを検討して欲しい。

**<座長（副市長）>**

市民が公共施設の利活用を考えていく、まさしく市民協働ということになると思うが、いろんな場面で、理念として市政に取り組んで行きたいと思っております。

**概ね質問がなくなり**

様々のご意見、ありがとうございました。担当課に確認が必要なものもございしますが、できる限りご意見を計画に反映したいと考えております。

**副市長あいさつ**

**<副市長>**

本来であれば市長がご挨拶をする所ではありますが、公務のため私からの御礼となります。

委員の皆様の任期については、一期二年の今年度が二年目となります。任期中、多大なるご協力を賜り、深く御礼申し上げます。総合計画については来年度以降、この未来ビジョン会議で評価を実施していくこととなります。来年度の委員構成については、今後、事務局で検討することになります。

**4 閉会**